

製品名: ML-IAP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13949**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	21kDa

抗原情報

遺伝子名	BIRC7 BIRC7; KIAP; LIVIN; MLIAP; RNF50; Baculoviral IAP repeat-containing protein 7; Kidney inhibitor of apoptosis protein; KIAP; Livin; Melanoma inhibitor of apoptosis protein; ML-IAP; RING finger protein 50
別名	
遺伝子 ID	79444.0
SwissProt ID	Q96CA5
免疫原	抗血清はヒト ML-IAP 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 162-211

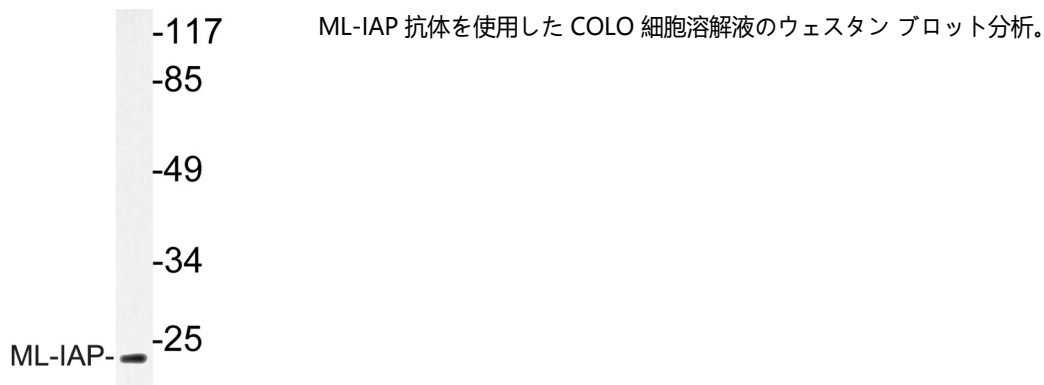
背景

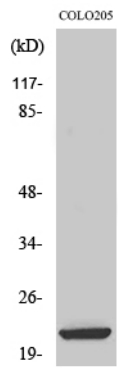
この遺伝子は、アポトーシス阻害タンパク質 (IAP) ファミリーのメンバーをコードし、バキュロウイルス IAP リピート (BIR) の単一コピーと RING 型ジンクフィンガードメインを含む。BIR ドメインは阻害活性に必須であり、カスパーゼと相互作用する。一方、RING フィンガードメインは抗アポトーシス活性を増強することがあるが、単独ではアポトーシスを阻害しない。コードされているタンパク質のレベルの上昇は、癌の進行と関連し、化学療法感受性に影響を与える可能性がある。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる[RefSeq 提供、2013 年 7 月]。機能: TNF 阻害薬、またはアドリアマイシン、エトポシド、スタウロスポリンなどの化学物質によって誘導されるアポトーシスから保護する。アポトーシスの抑制は MAPK8/JNK1 の活性化によって媒介され、MAPK9/JNK2 の活性化も介在する可能性がある。この活性化は TAB1 および NR2C2/TAK1 に依存する。In vitro では、カスパーゼ 3 およびプロカスパーゼ 9 のタンパク質分解による活性化を阻害します。アイソフォーム 1 はスタウロスポリン誘導性アポトーシスを阻害し、アイソフォーム 2 はエトポシド誘導性アポトーシスを阻害します。類似性: IAP ファミリーに属します。類似性: 1 つの BIR リピートを含みます。類似性: 1 つの RING 型ジンクフィンガーを含みます。細胞内局在: 核内、および細胞質全体に糸状パターンで存在します。サブユニット: カスパーゼ 9 に結合します。BIR ドメインを介して SMAC と相互作用することで、カスパーゼ 9 への結合およびアポトーシス抑制活性が阻害されます。TAB1 と相互作用します。In vitro では、BIR ドメインを介してカスパーゼ 3 およびカスパーゼ 7 と相互作用します。組織特異性: ほとんどの成人組織では、非常に低レベルであるか、検出されません。成人の心臓、胎盤、肺、リンパ節、脾臓、卵巣、およびいくつかの癌細胞株 (アイソフォーム 1 およびアイソフォーム 2) で検出されます。アイソフォーム 2 (アイソフォーム 1 は検出されません) は胎児の腎臓、心臓、脾臓で検出され、成人の脳、骨格筋、末梢血白血球にも低レベルで検出されます。

研究分野

-

画像データ





ML-IAP ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析